

令和 7 年度事業報告

■運営の概要

平素より全国の会員、指導者の皆様には、才能教育運動推進のため多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。令和 7 年度の事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

今年度は、コロナ禍以降、長く続いた影響から解放された 1 年となりました。

まずは、当初の予定を延期せざるを得なかった第 55 回グランドコンサートを 3 月に開催することができました。実に 8 年振りの開催となった今回のコンサートは、秋にオープンしたばかりの話題の施設 TOYOTA ARENA TOKYO に高円宮久子殿下のご来臨を賜り、OBOG や海外からも含め 2,000 人の参加者が集まりました。

3,000 人の観客が見守る中、東誠三会長と竹澤恭子先生の演奏から始まったコンサートは、200 人でのメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲第 3 楽章、各科の演奏、400 人でのモーツァルトの交響曲第 41 番「ジュピター」第 4 楽章と続き、最後には全参加者 2,000 人での演奏が披露され、会場が熱気と感動に包まれました。

また 8 月に開催した夏期学校は、コロナ禍前のように海外からの参加者を受け入れて開催しました。参加を心待ちにしていた 100 名を超す海外参加者を迎え、世界に広がるスズキ・メソードを実感しながら、猛暑にも負けず充実した時間を過ごすことができました。

その他にも、例年開催している「全国指導者研究会」や、2 回目となった東日本大震災復興イベントの「じしんをしるたび」、大府市との共催で行った「竹澤恭子&スズキ・メソードジョイントコンサート」など、多くの事業を行いました。

また、広報活動としては、新規入会者拡大やブランド認知度アップを目的として、デジタルマーケティング活動に特化したチームと外部 marketer による市場調査と、デジタルマーケティング活動を推進しました。

さらに、広報実行委員会の配信チームによる本会主催イベントの一般外部向け配信活動を強化し、多くの方にスズキ・メソードの活動を目にさせていただく機会を作りました。

今後も時代に即した広報活動を行い、会員増加に向けて積極的に情報を発信していきたいと考えています。

1946 年に松本音楽院が設立されて以来、本会は今年（2026 年）で創立 80 周年を迎えました。

この 80 年で社会情勢や生活環境は大きく変わりましたが、すべての子どもの幸せを願い、育てる本会の精神は不変のものです。

80 年間培われてきた精神を大切にしながら、時代に合わせた変化を恐れず、世界中で認められている自信と責任を持って、次の 10 年に歩み出したいと思いますので、更なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■公益目的事業報告

I 講座、セミナー、育成

(1) 第74回夏期学校

開催期間：令和7年7月31日（木）～8月5日（火）

開催場所：キッセイ文化ホール、まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館、

松本市勤労者福祉センター、深志神社、才能教育会館、スズキ・メソッド研究所

参加生徒数：589名（海外47名を含む）

参加指導者数：281名

参加者総数：1,573名（海外115名を含む）

参加（登録）生徒内訳

	V科	C科	F科	P科	0-3才
参加者数	411名	82名	25名	59名	12名

コロナ禍を挟み、久し振りに海外からの参加者を受け入れての開催となりました。

連日の猛暑にも関わらず、各地から参加された皆さんが教室別レッスンやグループレッスン、各種コンサートなど充実した時間を過ごしました。

(2) 2025年全国指導者研究会

開催日程：令和7年6月2日（月）～6月5日（木）

開催場所：まつもと市民芸術館、才能教育会館、スズキ・メソッド研究所、オンライン

参加者数：総数455名（現地参加268名、オンライン参加187名）

各科特別講師や加藤知子先生による楽器科別のプログラムや、指導者のグループディスカッション、大角欣矢先生の講演会や佐藤康光九段と東会長との対談、東京大学との共同研究に関する報告など、充実したプログラムを通じて指導技術や資質向上のため研鑽を積みました。

(3) 0～3歳児教室

開催日程：通年

開催場所：郡山、麻布十番、所沢、鎌倉藤沢、津田沼豊洲、長野、松本、富山高岡、名古屋一社、大府、多治見、西宮さんだ（全て自主運営教室）

0～3歳児とその保護者を対象に各地で教室を開設しています。

全ての教室が自主運営されていますが、本会では教室長会議や研修会等を通じて、運営に関するアドバイスをを行っています。

令和7年6月4日（水）

全国指導者研究会プログラムとして、村尾忠廣先生による講義『「本会新教材～うたのほん～考察」：スズキ・メソッドとしての歌唱教材と伴奏法 その2』を開催。

令和7年7月30日（水）

0-3プログラム研究会を開催

(4) 生涯学習教育

子どもに限らず、大人も音楽に親しむ機会を作るためHPやチラシで教室案内を行っているほか、地区や楽器科、教室が主催する発表の機会も設けています。

(5) 准指導者制度、初級指導者制度による指導者養成

開催日程：通年

開催場所：研修生在住地域 他

スズキ・メソードの指導者認定を目指し、准指導者養成制度研修生延べ 14 名（V 科 8 名、F 科 1 名、P 科 5 名 ※1 名は V.P 両科受講）が日々研鑽を積んでいます。

また、次の方が新たな指導者認定を受けました。

正指導者認定者 田邊由美子(V)、宮地亜実、堀田恵美子(P)

准指導者認定者 猶木華実(P)

(6) 卒業検定

開催日程：令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月

生徒の目標と意欲作りを目的に卒業検定が行われ、下記のとおり卒業認定されました。

令和 7 年度卒業生数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		ヴィオラ		合 計	
	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比
前期初等科	272 名	-64	38 名	-8	6 名	-1	238 名	-44	0 名	0	554 名	-117
初等科	290 名	47	35 名	-14	9 名	2	187 名	-27	0 名	-1	521 名	7
前期中等科	242 名	18	—	—	6 名	2	150 名	-9	0 名	-1	398 名	10
中等科	245 名	11	31 名	1	1 名	-3	139 名	15	0 名	0	416 名	24
前期高等科	196 名	10	30 名	3	3 名	3	84 名	12	0 名	0	313 名	28
高等科	142 名	-19	20 名	-1	0 名	-2	46 名	-6	0 名	0	208 名	-28
課程卒業	110 名	15	18 名	8	1 名	1	31 名	-14	0 名	0	160 名	10
研究科 A	72 名	6	8 名	0	0 名	-2	29 名	7	0 名	0	109 名	11
研究科 B	63 名	-1	2 名	-4	0 名	-1	23 名	-1	0 名	0	88 名	-7
研究科 C	51 名	12	8 名	7	1 名	0	—	—	0 名	0	60 名	19
合 計	1,683 名	35	190 名	-8	27 名	-1	927 名	-67	0 名	-2	2,827 名	-43

II 調査、資料収集

(1) 資料収集と整備及び公開

スズキ・メソードの情報発信のため、機関誌と才能教育通信を刊行したほか Web マガジンの MonthlySuzuki を毎月 1 日に配信しました。

機関誌 222 号～224 号、通信 800 新年号

MonthlySuzuki 記事 133 本

資料整理とデジタル化作業

過去の音声や映像、文書等を長期保存、公開するためのデジタル化作業を進めています。

また、令和 7 年 10 月 17 日から 11 月 30 日まで、鈴木鎮一記念館にて「『愛に生きる』直筆原稿展示」を行い、貴重な資料を多くの方にご覧いただきました。

(2) 指導者による研究

教育部運営委員会（オンライン開催、下線は一部対面）

令和7年 6/1.2（日・月）、7/11（金）、8/28（木）、10/9（木）、11/17（月）、12/18（木）

令和8年 1/19（月）、2/19（木）、3/23（月）、4/27（月）

指導者から選出された委員により、教育部に係わる事業、制度等に関する検討を行いました。

ヴァイオリン科研究会

令和7年10月24日（金）

令和8年5月17日（日）

チェロ科研究会

令和7年12月1日（土）～2日（火）

フルート科研究会

令和7年7月16日（水）

令和7年10月22日（水）

令和8年3月28日（土）

ピアノ科研究会

令和8年5月23日（土）

スズキ教育法研究会

委員会開催 令和7年 6/5（木）、8/1（金）、11/5（水）

令和8年 1/16（金）、4/10（金）

令和7年6月 全国指導者研究会に大角欣矢教授を招聘

令和8年3月 指導歴60年以上の指導者とフルート科名誉教授の高橋利夫先生による冊子
「紡ぐ～指導60年を越えて」を発行、指導者に配布

楽器科委員会 随時

(3) 東京大学との共同研究

音楽の習得や演奏評価に係る脳メカニズムを特定するために、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授と共同研究を進めています。

Ⅲ 主催公演

(1) 第55回グランドコンサート

令和8年3月27日（金） TOYOTA ARENA TOKYO

前回から8年振りとなるグランドコンサートを前年秋にオープンしたばかりのTOYOTA ARENA TOKYOに高円宮久子殿下をはじめとする多くのご来賓、観客をお迎えして開催しました。

竹澤恭子先生と東誠三先生によるタイスの瞑想曲に始まり、200人でのメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲第3楽章、各科の演奏、400人でのモーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」第4楽章、全参加者2,000人の演奏が披露され、会場が感動に包まれました。

(2) ピアノ科卒業記念演奏会

令和8年3月20日(金・祝) 甲信地区

才能教育会館ホール

令和8年3月20日(金・祝) 関西、中国・四国、九州、沖縄地区 高槻城公園芸術文化劇場

北館中ホール

令和8年3月31日(火) 東海、北陸越地区

東海市芸術劇場大ホール

令和8年4月3日(金) 関東、北海道・東北地区

練馬文化センター大ホール

全国4か所で卒業証書授与式と記念演奏会を開催しました。各課程を卒業した代表生徒による演奏や卒業証書授与などを行いました。

(3) 鈴木鎮一記念館コンサート

令和8年1月11日(日) 河西絢子・東誠三新春コンサート

鈴木鎮一記念館開館30周年を記念した、河西絢子さんと東誠三会長による記念館コンサートを開催しました。募集定員いっぱいの来館者を迎え、鈴木鎮一記念館がヴァイオリンとピアノの素晴らしい音色で満たされました。

(4) 竹澤恭子&スズキ・メソードジョイントコンサート in 大府

令和8年2月1日(日) 愛三文化会館もちのきホール

本会と大府市の「バイオリンによるまちづくりの推進に関する協定」に基づき、創立80周年を迎える本会と、市制55周年を迎える大府市の共催として開催しました。

竹澤恭子先生と、スズキ・メソードの生徒たちによる素晴らしい演奏が披露され、参加した生徒にとっても、思い出に残るコンサートとなりました。

IV 助成

(1) 奨学金事業

受給申請がなかったため、今年度は実施しませんでした。

V 地域文化活動協力

(1) 情操教育事業(松本市内において通年)

松本市と共同で市立幼稚園・市立保育園においてCD鑑賞を通じた情操教育事業を行っています。また、松本市近郊の指導者が中心となり、市内約半数の幼稚園・保育園を対象に訪問演奏を実施しました。

(2) 鈴木鎮一記念館の管理運営(通年)

松本市所有の鈴木鎮一記念館の指定管理者として、来館者への対応等の管理運営を行っています。今年は平成8年4月12日の開館から30年を迎え、より多くの方にご来館いただけるよう、記念コンサートの企画や特別展示などを行っています。

(3) 学校法人長崎日本大学学園との協力

長崎日本大学学園との協定に基づき、スズキ・メソードの実践を通じた人材育成や、地域文化の向上に貢献するための活動を模索しています。

(4) 学校法人博多学園との協力

学校法人博多学園の併設校博多高等学校看護科のスズキ・メソードによる音楽授業実施のため、本会認定指導者を派遣しています。

(5) 国立大学法人信州大学との協力

信州大学との教育研究協力に関する協定に基づき、スズキ・メソード教育法の意義と特質、発展と適用の可能性の探求などの共同研究を進めることを検討しています。

(6) スズキ・メソード幼児教育研究会との協力

幼稚園教育におけるスズキ・メソードの実践に協力するほか、本会認定指導者を派遣して園児に対する音楽指導を行っています。

(7) スズキ・メソード認定指導者派遣要請に対する指導者派遣

全国の幼稚園、保育園からの指導者派遣要請に応じて、本会認定指導者を派遣し正課プログラムとしてヴァイオリンの指導を行っています。

(8) 大府市との協定

大府市との「バイオリンによるまちづくりの推進に関する協定」に基づき、大府市立小学校で行われているヴァイオリンの授業に本会認定指導者を派遣するなどの活動をしています。

VI 支援

(1) 災害支援

開催日程：令和7年9月15日（月・祝）

開催場所：道の駅さんさん南三陸 311 メモリアル前

東日本大震災から15年が経過し震災を経験していない生徒も増える中で、被害の大きかった地域に出向き、その見聞を自分のこととして記憶に留め、伝えていく機会を得ることを目的とした「第2回じしんをしのび～星をつなぐコンサート」を開催しました。

多くの方が足を止めて演奏を聴いてくださったほか、現地観光協会の方との交流や、語り部ガイドさんのお話を通じて、当時の様子を学ぶ機会となりました。

VII その他

(1) 広報活動（随時）

広報委員会 令和8年1月16日（金）

広報実行委員会 令和7年9月24日（木）

令和7年度からは、広報実行委員会下のチーム・グループごとの活動を強化し、オンライン会議と Slack 等の即時情報共有ツールを活用し、委員会開催は重要案件や方針戦略の相談に特化し最小限の開催にとどめました。

- ・新規入会者拡大、ブランド認知度アップを目的として、マーケティング専門家派遣業者と契約しました。デジタルマーケティング活動に特化したチームと外部 marketer による市場調査とデジタルマーケティング活動を推進しました。（認知度調査、HP 改良、Google 社 Listing 広告出稿、ポスティング、問い合わせ対応ルート変更、等）

- ・広報実行委員会の配信チームによる本会主催イベントの一般外部向け配信活動を強化しました。
 令和7年9月14日（日）15日（月） 南三陸町での東日本東北大震災復興コンサート
 令和7年10月11日（土）12日（日） アークヒルズ広場の生徒演奏や楽器体験ブース
 令和8年1月11日（日） 鈴木鎮一記念館での河西絢子氏・東会長の DUO コンサート
 令和8年2月1日（日） 大府市愛三文化会館での特別講師竹澤恭子先生と
 スズキ・メソード生徒のジョイントコンサート
 令和8年3月27日（金） TOYOTA ARENA TOKYO での創立 80 周年記念
 グランドコンサート
 他
- ・MonthlySuzuki や Facebook、X(旧 Twitter)、instagram、会員向け Web マガジン「Fruitful」などを通じて、積極的に情報発信を行いました。
- ・東誠三会長を迎えた保護者とのオンライン交流会を実施しました。
 令和7年7月6日(日)
- ・夏期学校期間中に東会長、荻原尚子先生、山本裕康先生をパネリストにしたおけいこ相談会を開催しました。
 令和7年7月31日（日）
- ・松本市内の私立幼稚園への訪問演奏会を実施しました。
 令和7年11月20日（火）、令和8年1月27日（火）
- ・2025 年度活動報告書を作成して、関係企業等に発送しました。
- ・東誠三会長を迎えた指導者とのオンライン書籍講読会を実施しました。
 「愛に生きる」から学ぶ～東会長を囲んで
 令和8年1月25日（日）、令和8年5月10日（日）

（2）副教材販売（随時）

ピアノ科教則本など、指導に必要な副教材の販売を行いました。

（3）代教事業（随時）

本会認定指導者が病気等により指導ができなくなった際の代教申請の受付と、本会認定指導者の派遣を行いました。

■収益事業

I 才能教育（スズキ・メソード）の関連商品の開発・企画・制作・販売

既存のスズキ・メソードの書籍・CD 等関連商品の販売を行いました。

実施時期：通年

II 所有建物等の賃借等

本会が所有するスズキ・メソード研究所、吉祥寺教室、西武教室を貸し出して家賃収入を得るほか、才能教育会館のホールを貸し出して使用料を得ています。

実施時期：通年

■法人活動

I 会議

- (1) 理事会 令和7年7月27日(日)、8月21日(木)、12月7日(日)
令和8年2月22日(日)、4月12日(日)
本会運営に係わる事項の検討、決議等を行いました。

- (2) 第14期社員総会
実施時期：令和7年8月21日(木)
令和6年度決算書類などの議題を審議しました。

- (3) その他必要に応じた会議
実施時期：必要に応じて

II 国際スズキ協会および海外のスズキ協会との連携

- (1) 国際スズキ協会理事会への出席
TERI 代表理事の早野龍五理事長が出席しました。
実施時期：令和7年10月17日(金)、10月18日(土)
令和8年2月11日(水)、3月17日(火)
実施場所：オンライン
- (2) 国際スズキ協会出版委員会への出席
TERI 代表理事の早野龍五理事長が出席しました。
実施時期：令和7年7月8日(火)、8月28日(木)、12月10日(水)、12月16日(火)
令和8年5月5日(火)
実施場所：オンライン
- (3) 国際スズキ協会小委員会への出席
委員会に寺田義彦先生が出席しました。
実施時期：令和7年6月9日(月)、7月1日(火)、9月30日(火)、12月9日(火)
実施場所：オンライン
- (4) 国際スズキ協会楽器科別委員会への出席
F科委員会に宮前丈明先生が出席しました。
実施時期：令和7年6月18日(水)、9月9日(火)、12月17日(水)
令和8年2月25日(水)、4月29日(水)
実施場所：オンライン
Vla科委員会に野口美緒先生が出席しました。
実施時期：令和7年7月14日(月)、7月27日(日)、9月15日(月)、10月13日(月)
令和8年2月2日(月)、3月2日(月)、4月13日(月)、5月25日(月)
実施場所：オンライン

Ⅲ その他

(1) 鈴木鎮一先生、ワルトラウト夫人追悼ミサ

実施日程：令和8年1月24日（土）

実施場所：カトリック松本教会

早野理事長など関係者が参列して執り行いました。

(2) ハラスメント講習会

実施日程：令和7年6月3日（火）

実施場所：まつもと市民芸術館

講師を招きハラスメント防止に向けた講習会を開催し、全指導者を対象に確認テストを行いました。

(3) 法人の運営体制の充実を図るための取り組み

・理事会の構成と開催頻度

定款および定款運用規定により、理事選任にあたっては過半数を外部有識者とし、重任制限を設けているほか、3ヶ月に1回以上理事会を開催して、法人の意思決定を図っています。

更に業務執行理事会を毎週開催して、業務執行状況や課題を共有しています。

・理事が職務を遂行するための情報提供

職員ミーティングの内容をメールにて毎週報告するほか、会員数の推移や活動内容を月報として報告することにより、理事が法人の状況を把握できるよう努めています。

・指導現場における行動指針の共有

スズキ・メソッド principle を定め、常に行動指針を意識しながら現場指導にあたっています。

・ハラスメント防止対策

毎年講習会を開催してハラスメント防止に努めるほか、外部弁護士および本会業務執行理事による相談窓口を設けています。

・規程順守への取り組み

規律委員会を設け、規程違反等の申し立てを受ける体制を構築しています。

※制度改正に伴い、令和7年4月以降に開始する事業年度の報告書に新たに「法人の運営体制の充実を図るための取り組み」を記載することが必要になったため、今回の事業報告書から記載しています。